

J A 1 F Y Q局（佐藤さん）との思い出

7L2WVR 久保木尊史

2025年9月8日（月）ロールコールにてJA1FYQ局（佐藤0M）の訃報を知った。

昨年のロールコールで、FYQ局（以後、佐藤さん）がチェックインされた時、運転免許を返納されることを聞き、また、ご病気の療養中とお聞きしていたため、なかなかお会いする機会が無く、つい先日も、「佐藤さんはどうしているかな？」と思った。

まさか、7月22日に召されたとは。

佐藤さんとの出会いは僕が30才過ぎ、アマチュア無線の免許をとって駆け出しの頃、240グループでアイボールした時だと記憶している。以来、色々お世話になった。

佐藤さんの第一印象は、ちょっと怖いおじさん。

背が高くて声も大きく、何か失礼をしたらぶん殴られそうな、そんな印象だった。

でも実際に接してみると、とても明るく、優しくて、たくさん話してくれる人だった。

特に印象に残っているのは、上水本町のロイヤルホストで毎月行われた定例会。

佐藤さんも毎回参加され、色々話をしてくれて、とても楽しかった。

無線誘導ミサイルの発射実験で、ミサイルが自分たちの方向に向かってきて全員大慌てだった話、自衛隊の輸送機に乗ってあちこちの基地に行った話、、、など、

たくさん話をしてくれて、とても面白かった。

また、無線の知識も教えて下さった。

「自由空間損失」（自由空間伝搬損失）というものを教えてくれたのも佐藤さんだ。

電波はアンテナから球形状に広がるため、距離が2倍になると損失は4倍になる（のだそうだ）。

当時、EMEの話題で、なぜ小電力では電波が届かないのか分からなかった自分に、佐藤さんが、「それは自由空間損失ってのがあるからだよ」と言われた声は、今でもリアルに覚えている。

ロールコールでは、佐藤さんがKey局で相手のコールサインを言う時、「7L2WVR局～、」とコールサインの後に必ず「局」を付ける。それもほんの少しだけ長めに「局～」と。

佐藤さんの相手を敬う気持ちと相手への優しさを感じた。

もうあの声を聞くことが出来ないと思うと、とても寂しいし悲しい。

最後にお会いしたのは、昨年（2024年）の240総会の時だと思う。

その半年前、昭島アマチュア無線クラブの展示会でお会いして以来だった。

半年ぶりにお会いし、互いに笑顔で話し、笑いあい、お会い出来て良かったと思った。

240総会のあとはお会いする機会が無く、ずっとお会いしたいと思っていたが、

それも叶わぬ事となってしまった。

大好きな佐藤さんとの思い出を噛みしめながら、佐藤さんのご冥福を祈るとともに、

自分も240グループの末席に名を連ねる者として、50.240MHz SSB MOBILE GROUPの名に恥じないよう生きていきたいと思う。

佐藤さん、ありがとうございました。

7L2WVR 久保木尊史